

第8代 上尾市長 畠山 稔

「みんなが輝く街、上尾」 を目指して



畠山 稔

HATAKEYAMA MINORU

新たな上尾市の スタートに当たって

去る12月17日に執行された市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまの温かいご支援をいただき、第8代上尾市長として市政のかじ取りを担わせていただくことになりました。課せられた使命と職責の重さを痛感し、改めて身の引き締まる思いです。

私は、上尾市議会議員、埼玉県議会議員として22年間、皆さまからのご要望や困りごとに対応し、多くの政策提言に取り組んでまいりましたが、これからは市長の立場となり、

【プロフィール】

はたけやま・みのる

千葉工業大学卒。昭和48年4月日立アロイ株式会社(旧東洋伸銅所)入社。平成7年12月上尾市議会議員に初当選し、3期務めた後、平成19年4月埼玉県議会議員に初当選。以後、3期務める。

昭和24年9月24日岩手県陸前高田市生まれ、68歳。



職員に訓示する畠山稔市長

「公正な政治・公平な行政」の実現に向けて

22万8千人の市民の声を的確に捉えて行政運営をしていくためには、限られた経営資源を最大限に生かし、優先すべき施策順位や実施方法

よりスピーディーに市民のための政策の実現を目指してまいります。このたびの市長選挙は、「新しい上尾」をつくるための選挙でした。上尾市には、改革が必要です。そのためにも、できる限り早い時期に、再発防止のための第三者委員会を設置し、契約制度の検証や対応策の検討をすべく、現在準備を進めています。私自身、全身全霊をもって職務にまい進し、市民の皆さまからの信頼の回復に努めてまいります。

「みんなが輝く街、上尾」へ

自治体を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にあります。私は、市民の皆さまとの対話を重ねながら、共に英知を結集し、次代を担う子どもたちに素晴らしい上尾市を引き継ぐことができるよう、

実施時期などを見極め、市民生活の向上に寄与する事業を選択しなくてはなりません。初登庁の12月18日から早速、職員訓示、庁議などを開催し、その後も政策課題ヒアリングなどを鋭意実施することで、第5次上尾市総合計画後期基本計画や公約の具現化も含めた各種施策の検討を進めているところです。

粉骨砕身、市政運営に取り組んでまいります。

「クリーンな上尾」「公正な政治・公平な行政」を推進するためにも、市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、透明な市政を推進いたします。

上尾市は生まれ変わります。

郷土への誇りを胸に、市民の皆さまが夢を持てる「みんなが輝く街、上尾」の実現に向け、職員と共に一丸となって全力を挙げて努めてまいります。

市民の皆さまには、深いご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

歴代の市長（敬称略）

氏名	任期
下里 金太郎	昭和30年2月13日～昭和38年2月12日
斎藤 一布	昭和38年2月13日～昭和43年1月2日
下里 光徳（金太郎）	昭和43年2月18日～昭和47年2月17日
友光 恒	昭和47年2月18日～昭和63年2月17日
荒井 松司	昭和63年2月18日～平成8年2月17日
新井 弘治	平成8年2月18日～平成20年2月17日
島村 穰	平成20年2月18日～平成29年11月8日
畠山 稔	平成29年12月17日～在職中

◆市民が夢を持てる街「みんなが輝く街、上尾」の実現に向け、公正な政治、公平な行政を推進します。

公正な政治	公平な行政
①第三者による調査委員会の設置	⑥文化と芸術があふれる街
②談合防止条例の制定	⑦地域の特性を生かした農業を推進する街
③市財政の立て直し	⑧地元の企業を応援する街
④自治基本条例の制定	⑨近隣の街とともに発展する街
⑤公契約条例の制定	⑩市民の声が行政に届く街
①子育て世代ががんばれる街	
②いつまでも元気で活躍できる街	
③市民に開かれた街	
④市民の力を引き出す街	
⑤スポーツで市民が元気になる街	